

セクシュアルマイノリティ学生のための サポートガイド

2019.03.29 Ver. 2

目次

「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」	4
はじめに	5
1. 相談・サポート体制について	5
(1) 相談窓口	5
(2) 相談の流れ	5
■ 予約の仕方	6
■ 相談後の流れ	6
(3) 学内の紹介先	6
2. 氏名・性別の情報とその管理について	7
(1) 戸籍上の氏名表記に変更があった場合	7
(2) 通称名使用を希望する場合	7
■ 性別違和を持つ学生が通称名使用を申請する場合	7
■ 通称名使用時における本人名義口座への振込（早稲田大学学生健康増進互助会、 スチューデント・ジョブ、奨学金等）	8
(3) 戸籍上の性別に変更があった場合	8
(4) 学籍上の性別表記の変更	8
■ 出席簿（授業名簿）	9
■ 証明書の性別記載	9
■ 学内での啓発状況	9
3. 学生生活について	9
(1) 早稲田大学 UD（ユニバーサルデザイン）マップ	9
■ だれでもトイレの「ALL Genders」表記	9
(2) 定期健康診断	9
(3) セミナーハウス	10
■ 予約システム（部屋割り）	10
■ 入浴	10
(4) 学生寮	11
■ 入寮申込みにあたって	11
■ 部屋割り	11
■ 男女別フロア	11
■ トイレ	11
■ 入浴	11
■ ハウスマスター制度・RA 制度	11
(5) トレーニングセンター	12

■ 利用登録.....	12
■ ロッカー/更衣室	13
4. 授業の履修について	13
■ 教育実習・介護等体験等	13
5. 就職活動について	14
■ 大学指定の履歴書	14
■ 就職に関する個別相談	14
■ 企業情報.....	14
■ イベント等.....	14
6. 留学の対応について	15
■ 協定大学の受け入れ体制	15
■ トランスジェンダー学生の受け入れ体制	15
■ コミュニティの紹介.....	15
7. 多様なマイノリティ性を持つ学生への対応について	16
■ 車いすを利用する学生への対応	16
本ガイドへのお問い合わせについて.....	16
対応窓口一覧	17

早稲田大学ダイバーシティ推進宣言

一人ひとりの多様性と平等を尊重します。

“Respect each other, respect equality and diversity”

早稲田大学は創立以来、内外の多様な人々に広く門戸を開いてきました。また創立 150 周年を迎える 2032 年に向けて Waseda Vision 150 を策定し、教育・研究の質を飛躍的に向上させ、「アジアのリーディングユニバーシティ」として世界に貢献する大学であり続けることを目指しています。

しかし、教育・研究・就労の場におけるダイバーシティ推進という側面からみると、本学には、なお多くの課題があります。新たな Vision を実現するためには、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢などにかかわらず、本学の構成員の誰もが、尊厳と多様な価値観や生き方を尊重され、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

そのためにも、早稲田大学はここに、多様な知を結集して創造的な教育・研究活動を行い、社会の発展に資することを大学の使命と考え、ダイバーシティの尊重・推進に努めることを宣言します。

ダイバーシティ推進基本方針

1. 早稲田大学は、ダイバーシティ推進に関する意識を啓発し、本学的意思決定においては、構成員の多様な意見が尊重されるよう努力します。
2. 早稲田大学は、すべての構成員が個性と能力を発揮し、ワークライフバランスを実現できる教育・研究・就労環境を整備します。
3. 早稲田大学は、合理的配慮を必要とする構成員に対する支援体制を整備します。
4. 早稲田大学は、ダイバーシティの視点に立った人的構成と人材育成を推進します。

2017 年 7 月 1 日

早稲田大学

はじめに

本学では、2017 年に「早稲田大学ダイバーシティ推進宣言」を行い、性的指向・性自認にかかわらず、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境の整備を始め、同年 4 月に開設したセンターは、セクシュアルマイノリティはもちろん、広くジェンダー・セクシュアリティについての相談や支援、啓発イベント等を行っています。本ガイドは、セクシュアルマイノリティ学生が学生生活を送る上での支障が少しでもなくなることを期待し、GS センターを中心とした本学の取り組み、対応を整理し、まとめたものです。

2018 年 3 月に公開した「セクシュアルマイノリティ学生のためのサポートガイド Ver. 1」では、主に学内の相談フローの可視化や、トランスジェンダーの学生が困難を感じやすい氏名・性別情報の取り扱いとその管理に関すること、健康診断やセミナーハウスといった学生生活に関する現状について明らかにしました。しかし、これまでの GS センターに寄せられた相談事例から、Ver.1 で取り上げた項目以外でも大学生活や学修、キャリア形成で悩みを抱えていることが分かりました。

今回の更新にあたっては、Ver. 1 よりも詳細に大学生活における現状を共有するだけでなく、教育実習等の学外実習や、就職活動についてどのような対応ができるかをまとめました。また、学内で孤立しやすい留学生や、障がいがあり、且つセクシュアルマイノリティという属性を持った学生に対してどのような対応ができるかをまとめました。

1. 相談・サポート体制について

(1) 相談窓口

本学では、スチューデントダイバーシティセンターの中に GS センター (Gender and Sexuality Center) を設置しています。ここでは、主に本学の学部・大学院・芸術学校の学生、附属校の生徒を対象に、学生生活で感じた違和感や心配事、不自由など、ジェンダー・セクシュアリティに関する相談を受け付けています。ジェンダー・セクシュアリティに関する知識が豊富な専門職員が、プライバシー厳守のもと可能な範囲で対応します。相談内容によっては、学内・学外の適切な機関をご紹介します。連携してサポートいたします。学生・生徒本人に関するご家族（保護者・保証人等）および教職員の相談も受け付けています。

スチューデントダイバーシティセンター GS センター	場所：早稲田キャンパス 10 号館 2 階 開室時間：平日 9:00-17:00 E-Mail： gscenter@list.waseda.jp HP： https://www.waseda.jp/inst/gscenter/ Twitter： @gs_waseda Facebook： https://www.facebook.com/wasedags
-------------------------------	--

詳細な開室状況や運営状況については、Twitter をご覧ください。

(2) 相談の流れ

GS センターの開室時間中は、利用学生や、一般の見学者への対応もあり、職員が相談対応できない場合もあるため、事前予約をお勧めいたします。もちろん、予約なしでの来室も歓迎いたします。

当日来室して、雑談をしている流れの中で、具体的な相談を始めたいと感じられることもあるかと思います。そのような場合、相談スペースが空いている場合に限り、ご相談をお受けできますので、まずはお気軽にお越しください。

相談の例：セクシュアリティのことで悩んでいる、ALLY（支援者）として活動したい、ジェンダー論のレポートについて相談したい、LGBT コミュニティの友人関係のことで悩んでいる、など

■ 予約の仕方

個別相談予約フォームと直接来室での予約が可能です。詳細は以下の①②をご覧ください。

①個別相談予約フォームの場合

メールアドレス、お名前（ニックネーム可）、相談趣旨（概略のみ）、希望する予約日時等を入力いただけます。メール返信にて予約を確定し、予約日時に来室しての相談となります。

②直接来室の場合

センター来室時に渡される「受付表」の利用目的の項目の「相談」にチェックをし、相談したい内容を簡単に記入してください。職員が相談スペースの空き状況を確認し、空きがあれば当日相談が可能です。当日の空きがない場合、相談予約希望日時をお聞きし、予約日時をその場で確定させます。確定後、予約日時に来室しての相談となります。

■ 相談後の流れ

相談内容により、職員からの情報提供を受けたり、必要に応じて、相談者の合意のもと、学内・学外の専門機関を紹介したり、連携を図り対応していくことがあります。相談後の流れについて、詳しくは GS センターのホームページ『[利用・相談について](#)』のページ内にある「相談フロー」をご覧ください。

（3）学内の紹介先

ジェンダー・セクシュアリティについて悩んでいることで精神的に大きな負担が生じることがあります。相談内容によっては、保健センターの学生相談室を紹介し、連携して対応に当たります。学生相談室では臨床心理士が常駐しており、じっくり相談できます。

また、早稲田大学におけるハラスメント防止に関するガイドラインに違反する行為に対し、相手に具体的な対応を要求したい場合にはハラスメント防止室を紹介します。

保健センター 学生相談室	場所：早稲田キャンパス 25-2 号館 6 階 開室時間：平日 9:00-12:00、13:00-17:00 土曜 9:00-13:00 TEL：03-3203-4449（予約優先） HP：http://www.waseda.jp/hoken/center_info/student_counseling
ハラスメント防止室	場所：早稲田キャンパス 28 号館 1 階 開室時間：平日 9:30-17:00 TEL：03-5286-9824 E-Mail：stop@list.waseda.jp HP：http://www.waseda.jp/stop/

2. 氏名・性別の情報とその管理について

(1) 戸籍(*)上の氏名表記に変更があった場合

本人が戸籍上の氏名を変更した場合は、所属学部・研究科等事務所にて変更手続きを行ってください。

(*) 留学生の場合、「戸籍」は、自国において管理されている身分を証明する正式書類を想定しており、日本においては在留カードやパスポートに反映されているものを指します。以降も同様の意味合いで用いています。

・氏名変更届

・以下を満たす書類

- 1、公的機関発行の書類であること
- 2、現在の氏名と旧氏名が判別可能な書類であること

例：戸籍謄本、戸籍抄本、運転免許証、住民票、住民票記載事項証明書など

(2) 通称名使用を希望する場合

戸籍上の氏名を変更していない場合でも、本学では以下の理由に該当し、認められた場合には、戸籍上の氏名とは別に通称名を登録し、使用できます(*)。手続きには「[通称名使用願](#)」に加え、下表のとおり申請理由に応じた書類が必要となります。必要書類を準備のうえ、所属学部・研究科等事務所にて手続きを行ってください。

(*) 登録時に、「通称名のみ」、または「本名と通称名を併記」するかを選択します。

理由	必要書類
①本人の「住民票」に記載されている通称名の使用を希望するため	住民票
②婚姻、または養子縁組により改姓したが、研究活動における継続性を維持するため（他の理由の場合は「③その他」）旧姓の使用を希望するため	現在の本名と旧姓が判別可能な公的証明書 例：戸籍謄本、戸籍抄本、パスポートなど
③その他（理由の記述が必要）	理由の正当性を補足するもの

■ 性別違和を持つ学生が通称名使用を申請する場合

性別違和を持つ学生が通称名使用を申請する場合は、上表「③その他」に該当します。その場合、「[通称名使用願](#)」とともに提出する「理由の正当性を補足するもの」としては性同一性障害等、性別違和を持つことが分かる医師の診断書が考えられます。通称名の使用を希望しているが、現在通院中あるいはこれから通院する予定等でまだ診断書が発行されない場合は、まずはGSセンターへ相談してください。

通称名の使用が認められた場合、各種書類に記載される氏名は、下表のとおりです。

区分	本名	通称名
学生証		通称名を使用
出席簿/採点簿		
証明書	発行時に本人が選択する	

学位記	卒業見込みが立った段階で所属学部・研究科等事務所に本人が選択する
-----	----------------------------------

なお、通称名を使用する場合、通称名と本名との認証に関しては、本人の責任において行っていただくことになります。

■ **通称名使用時における本人名義口座への振り込み（早稲田大学学生健康増進互助会、スチューデント・ジョブ、奨学金等）**

通称名使用が認められている場合、早稲田大学学生健康増進互助会（学生早健会）の医療費給付を受ける際、学生早健会の会員証である「学生証」と、「保険証」や「本人名義口座」、「領収書」の名前が一致しないことがあります。その場合でも、どちらも同一人物であることを確認できれば、申請できます。また、学内でのスチューデント・ジョブ（RA、TA、研究補助者、臨時職員、試験監督員、派遣スタッフ、委託業務等）や学内奨学金に関しても同様の扱いです。ただし、日本学生支援機構および学外団体が運営する奨学金に関しては別途手続きが必要な場合がありますので、奨学課までお問い合わせください。

学生生活課 ① 学生健康増進互助会担当 ② スチューデント・ジョブ担当	場所：戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階 開室時間：平日 9:00-17:00 土曜 9:00-17:00（12:30-13:30 閉室） TEL：03-3203-4349（共通） E-Mail & HP： ① gakusei-kenko@list.waseda.jp http://www.waseda.jp/student/hoken/gojyokai/ ② sjc@list.waseda.jp http://www.waseda.jp/sjc/top/
奨学課	場所：戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階 開室時間：平日 9:00-17:00 TEL：03-3203-9701 E-Mail：syogakukin@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/scholarship/

（3）戸籍上の性別に変更があった場合

本人の戸籍上の性別表記に変更があった場合は、現在決まった書式での申請方法がないため所属学部・研究科等の事務所と相談の上、変更手続きを行うことになります。変更手続きをする上で、ご不明な点、ご不安等がある場合は、GSセンターに相談してください。

（4）学籍上の性別表記の変更（2019年3月現在）

氏名とは異なり、学籍上の性別は、戸籍上の性別とは異なる性に変更できません。ただし、本学では、各種証明書（健康診断証明を除く）、出席簿、手続書類から性別欄を削除するなど、本人の意図しない形で戸籍上の性別（学籍上の性別）が公表されることがないようにすべく、厳重に管理しています（*）。万が一、アウトティング（本人の了解を得ずに、性的指向や戸籍上の性別等の公にしてい個人情報を暴露する行動）の被害を受けた場合や、その他学生生活においてご不安な点があれば、いつでもGSセンターに相談してください。

（*）現在、本学において戸籍上の性別情報を取得していますが、性別情報を含む学生個人に関する情報は学生所属箇所の職員その他、教務担当・学生担当の職員など、業務上必要な担当者のみに取り扱い権限を付与しています。

■ 出席簿（授業名簿）

各授業科目の出席簿や Course N@vi に性別の記載はありません。

■ 証明書の性別記載

本学で発行する証明書関係書類のうち、学内外の関係箇所への申請書類によっては、性別記載が求められる書類（健康診断証明書、通学証明書など）もあります。手続きをする上で、ご不明な点、ご不安等がある場合は、GSセンターに相談してください。

■ 学内での啓発状況

ダイバーシティ推進室では学生・教職員・一般の方を対象にセクシュアルマイノリティ支援の一環として公開講演会等、各種イベントを実施するほか、[教職員向けの啓発ガイド](#)を配布するなどの取り組みを行っています。啓発ガイドでは学生の性別情報の管理に関することを含め、当事者学生が困難を抱く事例に対し、具体的な配慮・対応事例を挙げ注意喚起をしています。

ダイバーシティ推進室	TEL : 03-5286-9871 E-Mail : diversity@list.waseda.jp HP : https://www.waseda.jp/inst/diversity/
------------	---

3. 学生生活について

(1) 早稲田大学 UD(ユニバーサルデザイン)マップ

早稲田大学では、ユニバーサルデザインの考え方をもとに、だれもが安心して過ごせるキャンパスづくりを実現するため、バリアフリー情報や保育関連施設、「だれでもトイレ」について掲載した「[早稲田大学 UD\(ユニバーサルデザイン\)マップ](#)」を作成しています。

■ だれでもトイレの「ALL Genders」表記について

「だれでもトイレ」とは、文字通り「誰でも利用できる」トイレです。車椅子も入るスペースが確保されていることに加え、利用者の性の在りようを問うこともありません。どなたでも遠慮なく利用してください。



(2) 定期健康診断

定期健康診断はご自身の健康管理のための貴重なデータとなるため、必ず年に1度は受診してください。

（定期健康診断詳細：https://www.waseda.jp/hoken/health_checkup）

新入生対象の胸部 X 線検査を除き、受診の際に男女別に分かれることはありません。問診票には男女欄があり、戸籍上の性別を記入していただくことを想定していますが、未記入でも問題ありません。服装に関しては、通常の着衣のまま受診できます（胸部 X 線除く）。不安な点についてはGSセンターへご相談ください。

(3) セミナーハウス

早稲田大学のセミナーハウスの多くの施設ではトイレや浴室が男女ごとの共用の設備となっております（*）、事前にご相談を頂ければ出来る限りの対応をさせていただきます。詳細は学生生活課セミナーハウス担当までお問合せください。相談にあたり不安がある場合には、GSセンターまで相談してください。（*）各セミナーハウスの見取り図は[こちら](#)

<ご参考> 各セミナーハウスの個室対応状況、風呂・トイレ詳細

セミナーハウス	個室対応	風呂・トイレ詳細
軽井沢	×	82号棟(A棟)：トイレ共用（各階男女1つずつ） 82-2号棟(B棟)：風呂共用、一部個室シャワー付（*）。 6号棟：コテージごとに個室トイレが1つ。 ※7号棟・グリーンハウスは原則として学生は使えません。
松代	×	風呂・トイレ共用のみ。
菅平	×	シャワー室有、トイレ共用。
伊豆川奈	×	風呂共用のみ。全室トイレ付。
鴨川	×	風呂共用のみ。全室トイレ付。
本庄	○ (1人部屋あり)	全室風呂・トイレ付。

(*)セクシュアルマイノリティの利用者の視点に立ってGSセンターが軽井沢セミナーハウスを視察しました。レポートを早稲田ウィークリーで公開していますので参考にしてください。

[早稲田ウィークリー 1469号特集「早大宿泊施設にセクシュアルマイノリティの視点で泊まってみたら…」](#)

■ 予約システム（部屋割り）

セミナーハウスの利用にあたっては、利用団体を代表して予約者（ゼミ担当教員や団体代表学生など）がMyWasedaより手続きを行います。その際、宿泊の概要のほかに①「男女毎の人数」を申請する必要があります。また、利用開始の7日前までには、別途②宿泊者名簿（宿泊者全員の「氏名」「フリガナ」「性別（自由記述式）」「学籍番号」を記載）を提出する必要があります。上記①②の性別情報に基づきシステムが宿泊部屋の割り当てを行い、適正な部屋数を確保します。

現状の仕組みでは予約者が一括して申請を行うため、部屋割りのことで悩んでも、予約者への相談を要しカミングアウトの問題が生じるリスクがあります。システムによる部屋割りでの不都合がある場合は、予約者を介さずとも直接ご相談いただけますので、事前に学生生活課またはGSセンターまでお問い合わせください。

■ 入浴

セミナーハウス毎に入浴時間が決められていますが、事前にご相談いただければ管理人と連携して時間外でのご利用等検討します。

<ご参考> 各セミナーハウス入浴時間

【軽井沢・松代】16：00～20：00 まで 【菅平・伊豆川奈・鴨川】16：00～22：00 まで

【本庄】各部屋のユニットバスは終日利用可能（大浴場はありません）

学生生活課 (セミナーハウス担当)	場所 ：戸山キャンパス 30 号館（学生会館）1 階 開室時間 ：平日 9:00-17:00、土曜 9:00-17:00（12:30-13:30 閉室） TEL ：03-3203-4341 E-Mail ： seminar-house@list.waseda.jp HP ： http://www.waseda.jp/student/kosei/seminar-house/
-----------------------------	--

（４）学生寮（国際学生寮 WISH を中心に）

早稲田大学では日本人学生・留学生を問わず安心して学生生活を送れるよう、大学直営寮や大学提携寮を多数設置しています。ジェンダー・セクシュアリティに関する不安については事前の相談により対応について検討いたしますので、直営寮・提携寮いずれの場合もレジデンスセンターまでご相談ください。相談にあたり不安がある場合は GS センターにご相談ください。なお、寮によっては設備等の都合により、止むを得ず対応できない場合もありますのであらかじめご了承ください。以下、大学直営寮の中で最も部屋数の多い国際学生寮 WISH について現状を記載します。

■ 入寮申込みにあたって

WISH の生活フロアは男女別に分かれており、所定のオンラインフォームにより戸籍上の性別を「男・女」どちらかにチェックを入れる形式で入寮申込みをしていただけます。記入にあたり不安のある場合にはレジデンスセンターまたは GS センターにご相談ください。

■ 部屋割り

申請された戸籍上の性別をもとに大学側でフロアおよび部屋割りを決定します。寮室は内側から施錠可能な個室ですが、原則 4 人 1 組を 1 ユニットとしてリビング、洗面台を共用します。共同生活にあたっての不安がある場合にはレジデンスセンターまたは GS センターにご相談ください。

■ 男女別フロア

基本的に生活フロア（居室、共用リビング、キッチン、シャワー等）は男女別に別れており、生活フロアには男女分けされたエレベーターを使用することとなります。ジェンダーを問わない共用施設（寮管理事務所、専用フィットネスジム、音楽室、ラウンジ、自習室等）は 1 階～ 2 階のみに設置されています。

<フロアガイド> <https://www.waseda.jp/inst/rlc/wish/facility/>



各フロアへは男女分けされたエレベーターを使用する

■トイレ

生活フロアが男女別に分かれているため、男性階には男性用、女性階には女性用のトイレがあるのみです。2階には「だれでもトイレ」が設置されています。

■入浴

男性階、女性階を問わずそれぞれの階ごとに、24時間利用可能な更衣スペースを含んだ個室シャワールームが1フロアあたり16室設置されています。また、2階には男女別の大浴場（利用時間17時～24時）が設置されています。

■ハウスマスター制度・RA制度

寮生活のサポートを行うため、WISHではハウスマスター（寮長）が夫妻で住込みにて寮生からの相談を受け付けています。

また、各フロアには住込みで寮生をサポートする先輩寮生のRA（レジデント・アシスタント）がレジデンスセンターにより配置されています。RAに対する研修では、ジェンダー・セクシュアリティに関する内容も含めており、寮生活の中でジェンダー・セクシュアリティに関する困りごとがあった場合にはRAにも相談できます。もちろんRAに相談しづらい内容はGSセンターがサポートにあたります。



シャワー室内には更衣スペースが設けられている

レジデンスセンター	場所：戸山キャンパス 30号館（学生会館）1階 開室時間：平日 9:00-17:00 TEL：03-3203-2634 E-Mail： dormedu@list.waseda.jp HP： https://www.waseda.jp/inst/rlc/
-----------	--

（5）トレーニングセンター

■利用登録

学生会館（30号館）地下2階には早大生・教職員が登録・利用できるトレーニングセンターを設置しています。利用登録に当たっては「健康個人カード」、または「健康診断書」が必要になります。学内で実施している定期健康診断については本ガイドのP9をご覧ください。また、登録・利用の詳細については[こちら](#)をご確認ください。

■更衣室（ロッカールーム）

更衣室（ロッカールーム）は、「男性」「女性」「個室」の3つに分かれています。「個室」は、特段の理由なく全ての方が使用できます。

「個室」は2部屋ありますが数が少ないため、場合によってはお待ちいただく可能性もあります。「個室」を他の方が利用している間は、中に入る等の使用をすることができません。詳細な利用方法については、次ページ「個室更衣室（ロッカールーム） 利用上の注意について」をご覧ください。

個室更衣室（ロッカールーム） 利用上の注意について

個室は、学生会館地下 1 階に 2 部屋（「トレーニングセンターRoom1」、「トレーニングセンターRoom2」）あり、それぞれ 2 名定員ですが、一度に使用できるのは 1 名ずつとなります。

個室利用の流れは以下の通りです。

-----使用申請-----

①トレーニングセンター受付（学生会館地下 2 階）で「利用台帳」の「個室」に○をつける。（個室を他の人が使用している場合、最大 20 分お待ちいただくこととなります。予めご了承ください。）

なお申請は、20：00 までとする。

②職員からロッカーカードおよび個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。

③**20 分以内**に更衣を済ませる。衣服等の管理は、個室内に設置してあるロッカーを使用する。

④個室を施錠し、個室の鍵のみを受付の職員に返却する。（ロッカーキーは自身で管理する。）

-----トレーニングルームの利用が終わった後-----

⑤受付職員に個室利用者である旨を伝えロッカーキーを提示する。（個室を他の人が使用している場合、最大 20 分お待ちいただくこととなります。予めご了承ください。）

⑥個室の鍵を受け取り、記載された番号の個室を利用する。

⑦**20 分以内**に更衣を済ませる。利用したロッカー内の全ての荷物を取り出す。

⑧個室を施錠し、ロッカーカードと個室の鍵の 2 つを、受付職員に返却する。

-----使用にあたっての注意事項-----

※トレーニングセンターは 21:00 で完全閉室するため、個室利用者は **20:20 を目途に余裕を持ってトレーニングを終了し受付にて個室の鍵を借りてください。**なお、その場合でも最大 20 分お待ちいただくことがあります。

※使用中は個室の内側から施錠をしてください。貸し出しから 20 分を大幅に過ぎても個室の鍵が返却されない場合は、ロック確認の上で、職員が開錠する場合があります。

※持ち帰り・紛失等の際は理由の如何を問わず、鍵の交換費用を負担いただくことがあります。

※**個室を他の人が利用している間は如何なる理由があっても個室内の荷物の取り出し等には応じられません。（授業に必要な道具・スマートフォン・財布等を出したい場合でも対応できません。）**

早稲田大学学生部学生生活課

4. 授業の履修について

■教育実習・介護等体験等

教育実習や介護等体験の実習先は、学外機関での実施になります。トランスジェンダーの学生が望む性別での実施を希望する場合、事前に実習先に本学を通じて相談することができます。（巻末「対応窓口一覧」参照）

実習先との相談・調整には時間がかかるケースもありますので、十分に余裕をもってご相談ください。ご相談にあたり不安がある場合には、GS センターにご相談ください。

ただし、実習先はすべて学外の機関となりますので、実習先の設備等の都合により、希望に沿えるとは限りません。

5. 就職活動について

■ 大学指定の履歴書

学生が就職活動で使用する履歴書には学校の定めたものではありません。また、今後作成する予定はありません。早稲田大学生協同組合で取り扱う早稲田大学のロゴマークを使用した履歴書には性別を問う欄自体がありません。

■ 就職に関する個別相談

キャリアセンターでは専用のブースを設けて個別相談に乗っています。（要予約、1回40分以内。）予約の詳細は「[相談予約システムマニュアル（学生用）](#)」にて確認できますが、セクシュアルマイノリティが抱える困難を伴う相談内容については、研修等を受けた知識のあるスタッフが対応しますので、相談日時の調整について事前にメールにてお問い合わせください。相談内容によっては、本人の同意のうえGSセンターとも連携し対応します。

お問い合わせ：career-appt@list.waseda.jp

■ 企業情報について

キャリアセンターおよびGSセンターが連携し、企業におけるセクシュアルマイノリティ施策について、CSR企業総覧2016年版LGBTに対する基本方針(権利の尊重や差別の禁止等)が「あり」と公表している会社一覧を参考に抽出した91社に向けたアンケート調査を実施し、報告書を作成しました。希望者にはGSセンター内での閲覧が可能です。

主な項目：

- ・就業規則等への差別禁止明記の有無
- ・社員へ向けた研修の有無
- ・同性パートナーを持つ社員に向けて福利厚生制度を適用した事例の有無
- ・採用選考に当たり、当事者に向けた配慮（服装を規定しない等）の有無

■ イベント等

GSセンターでは「LGBTs 就活・就労交流会」と題し、就活を終えたセクシュアルマイノリティ当事者学生と、社会人のセクシュアルマイノリティ当事者の方を招いた講演会や座談会等のイベントを不定期で開催しています。「自分らしく働くってどうすればいい?」「カミングアウトして就活するには?」など、LGBTs 当事者限定の完全予約制のクローズドなイベントです。イベント情報は随時GSセンターホームページに掲載しています。

キャリアセンター	場所：戸山キャンパス 30号館（学生会館）3階 開室時間：平日 9:00-18:00 土曜 9:00-17:00 TEL：03-3203-4332 E-Mail： career-appt@list.waseda.jp HP： https://www.waseda.jp/inst/career/
----------	--

6. 留学の対応について

（【日本⇒海外】派遣留学生）

■協定大学の受け入れ体制

早稲田大学は約 700 校の海外大学と協定を結んでおり、留学センターではできる限り本人の希望に沿った留学先を選べるようサポートしています。留学先を検討するに当たって、寮や大学施設の状況などについて、ホームページ等で情報が得られず、受け入れ先の環境に不安がある場合には、留学センターにご相談ください。相談内容をうかがいながら、協定校への確認・対応の相談をすることができます。

お問い合わせ：out-cie@list.waseda.jp

また、性的指向に関する法律上の扱いは国によってさまざまです。留学先の「国」を検討する際には以下のような資料が参考になります。

<http://nijiirodiversity.jp/world-map-2018/>

（「性的指向に関する世界地図 2018」 2018 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ）

（【海外⇒日本】外国人留学生サポート）

早稲田大学では、留学生が日本や早稲田大学での生活で孤立しないよう支援をしています。GS センターの相談では英語を話せる職員が対応をしますが、専門性によっては通訳を介する場合がありますので、ご了承ください。

■トランスジェンダー学生の受け入れ体制

トランスジェンダー学生の中でも、特に身体的治療をしている学生に対しては、日本においても治療ができるようジェンダークリニックの情報提供を行っています。学生生活においても、通称名使用や寮など、学内機関と連携して対応を検討していきますので、早稲田大学への留学が決まりましたら、GS センターにご相談ください。

■コミュニティの紹介

ICC（異文化交流センター）では、すべての学生を対象に国籍・民族・文化的背景等あらゆる多様性の枠を超えて参加できる多様な交流イベントを年間約 300 回開催しています。ジェンダー・セクシュアリティに関するトピックを扱ったものもあります。フレンドリーな雰囲気 ICC ラウンジには昼食や休憩をとる多様な学生達が自然と集まってきます。一人で来る学生も多いのでお気軽にご利用ください。

（ICC イベント情報）<https://www.waseda.jp/inst/icc/>

また、GS センターでは、異性愛ではない学生がアクセスできるコミュニティや外国語対応可能な学外機関の情報提供も行っています。気軽に来室しお問い合わせください。なお、すべての曜日で外国語対応ができる体制ではありませんが、英語対応が可能な常勤職員がいます。

<p>留学センター</p>	<p>場所：早稲田キャンパス 22 号館 1 階 開室時間：平日 10:00-17:00（相談・手続き対応は 12:00-17:00） TEL：03-3208-9602 E-Mail：【早稲田から海外へ】out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】ex-in-cie@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/cie/</p>
<p>スチューデントダイバーシティセンター ICC（異文化交流センター）</p>	<p>場所：早稲田キャンパス 3 号館 1 階 開室時間：【授業実施期間】平日 10:00-18:00 土曜 10:00-17:00 【授業休止期間】平日 10:00-17:00 土曜閉室 TEL：03-5286-3990 E-Mail：icc@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/icc/</p>

7. 多様なマイノリティ性を持っている学生への対応について

GS センターでは、先の留学生と併せて、日本において社会的にマイノリティとされる要素を持ち、かつセクシュアルマイノリティの学生（多様なマイノリティ性を持っている学生）に対しても、他箇所と連携をしながら支援を行っています。居場所についても、テーマカフェを行ったり、学外の自助グループやコミュニティの情報提供をしていますので、お気軽にご相談ください。

- （例）・発達障がいであり、トランスジェンダーの学生
・留学生であり、同性愛の学生

■車いすを利用する学生への対応

GS センターのある 10 号館にはエレベーターがないため、現状では車いすを利用する学生がアクセスできません。相談支援に関しては、事前にご連絡いただくことで、別場所にて対応が可能ですので、GS センターまでご相談ください。

本ガイドへのお問い合わせについて

ここに掲載した情報は 2019 年 3 月時点の状況です。内容に関して不明な点がある場合、事実と相違があると感じた場合には GS センターまでお知らせください。

安心な学生生活を送るためにはまだまだ情報が足りないと感じている方も多くいることと思います。今回掲載に至らなかった事項についても引き続き調査をし、より一層のガイド 内容の充実を目指していければと思います。

以上

対応箇所一覧

全般的なお問い合わせ	スチューデントダイバーシティセンター G Sセンター	場所：早稲田キャンパス10号館2階 開室時間：平日9:00-17:00 E-Mail：gscenter@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/gscenter/ Twitter：@gs_waseda Facebook：https://www.facebook.com/wasedags ※詳細な開室状況や運営状況については、Twitterをご覧ください。
相談・サポート体制について	保健センター 学生相談室 (悩み・相談に関すること)	場所：早稲田キャンパス25-2号館6階 開室時間：平日9:00-12:00、13:00-17:00 土曜9:00-13:00 TEL：03-3203-4449 (予約優先) HPhttp://www.waseda.jp/hoken/center_info/student_counseling
	ハラスメント防止室 (ハラスメントに関すること)	場所：早稲田キャンパス28号館1階 開室時間：平日9:30-17:00 TEL：03-5286-9824 E-Mail：stop@list.waseda.jp HP：http://www.waseda.jp/stop/
氏名・性別の情報とその管理について	学生生活課 ①学生健康増進互助会担当 ②スチューデント・ジョブ担当 (通称名使用時の大学から本人 口座への振込に関すること)	場所：戸山キャンパス30号館(学生会館)1階 開室時間：平日9:00-17:00 土曜9:00-17:00 (12:30-13:30閉室) TEL：03-3203-4349 (共通) E-Mail & HP：①gakusei-kenko@list.waseda.jp http://www.waseda.jp/student/hoken/gojyokai/ ②sjc@list.waseda.jp http://www.waseda.jp/sjc/top/
	奨学課 (奨学金申請に関すること)	場所：戸山キャンパス30号館(学生会館)1階 開室時間：平日9:00-17:00 TEL：03-3203-9701 E-Mail：syogakukin@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/scholarship/
	ダイバーシティ推進室 (教職員等への学内啓発や「だれ でもトイレ」に関すること)	TEL：03-5286-9871 E-Mail：diversity@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/diversity/
学生生活について	学生生活課 (セミナーハウスに関すること)	場所：戸山キャンパス30号館(学生会館)1階 開室時間：平日9:00-17:00、土曜9:00-17:00 (12:30-13:30閉室) TEL：03-3203-4341 E-Mail：seminar-house@list.waseda.jp HPhttp://www.waseda.jp/student/kosei/seminar-house/
	レジデンスセンター (学生寮に関すること)	場所：戸山キャンパス30号館(学生会館)1階 開室時間：平日9:00-17:00 TEL：03-3203-2634 E-Mail：dormedu@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/rlc/
授業の履修について	教育・総合科学芸術院 教職支援センター (教育実習・介護等体験等に関する こと)	場所：早稲田キャンパス16号館2階 開室時間：平日9:00-17:00 但し、大学が定める休業日を除く、授業実施期間、試験・補講期間および春季・夏季・冬 季休業期間の平日。 TEL：03-3232-3599 E-Mail：kyousyoku-office@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/fedu/tec/
就職活動について	キャリアセンター (就職相談等に関すること)	場所：戸山キャンパス30号館(学生会館)3階 開室時間：平日9:00-18:00 土曜9:00-17:00 TEL：03-3203-4332 E-Mail：career-appt@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/career/
留学について	留学センター (留学先の受け入れ体制に関する こと)	場所：早稲田キャンパス22号館1階 開室時間：平日10:00-17:00 (相談・手続き対応は12:00-17:00) TEL：03-3208-9602 E-Mail：【早稲田から海外へ】out-cie@list.waseda.jp 【海外から早稲田へ】ex-in-cie@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/cie/
	スチューデントダイバーシティセンター ICC (異文化交流センター) (留学生の参加できるイベントのこ と)	場所：早稲田キャンパス3号館1階 開室時間：【授業実施期間】平日10:00-18:00 土曜10:00-17:00 【授業休止期間】平日10:00-17:00 土曜閉室 TEL：03-5286-3990 E-Mail：icc@list.waseda.jp HP：https://www.waseda.jp/inst/icc/